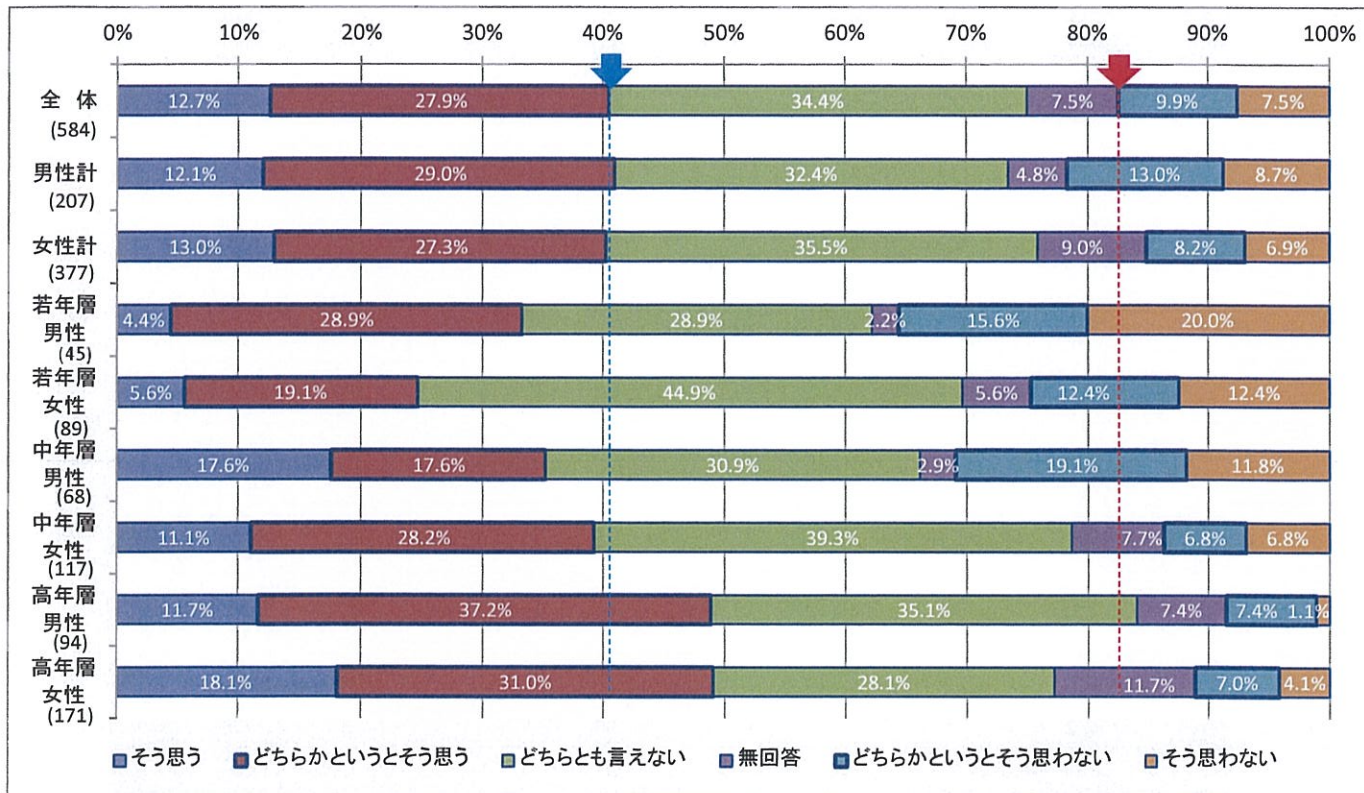


# 1 環境

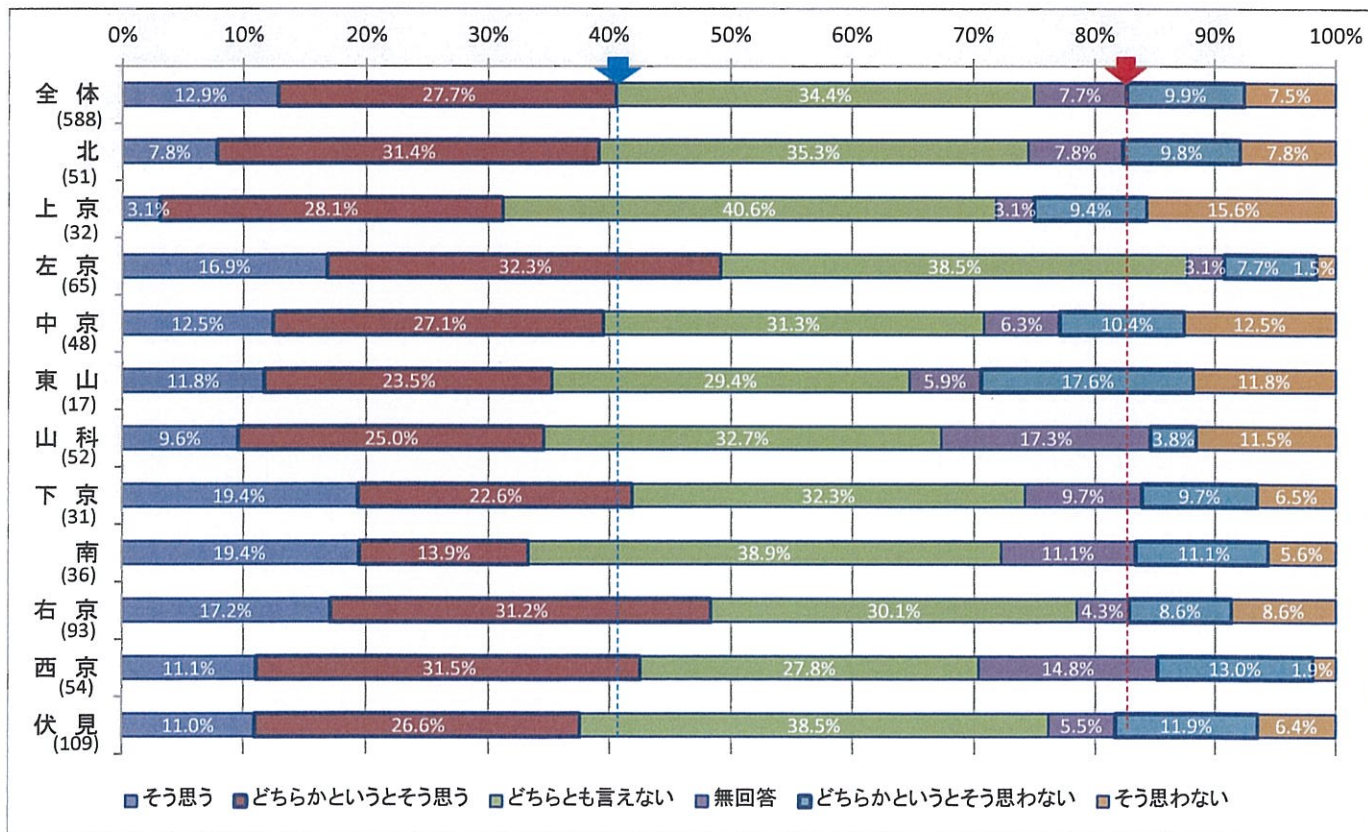
- 1 京都の子どもたちは、山紫水明の自然環境をかけがえのないものと実感している。
- 2 「きれいな空気、清らかな川、静かなまち」など、よい環境が保たれている。
- 3 省エネや省資源に取り組むひとや、徒歩、自転車、公共交通機関を利用するひとが増えている。
- 4 太陽光発電や使用済み天ぷら油の燃料化など、環境にやさしい技術やエネルギーの活用が進んでいる。
- 5 京都では、環境にやさしい行動を当たり前のこととして実践するひとや事業者が増えている。
- 6 マイバッグやリサイクル製品など、ごみを出さないようなくらしと事業活動が広がっている。
- 7 ごみを分別して出せる拠点が身近にあり、ごみのリサイクルが進んでいる。

# 1 京都の子どもたちは、山紫水明の自然環境をかけがえのないものと実感している。

## (1) 世代別・性別分析



## (2) 居住区別分析

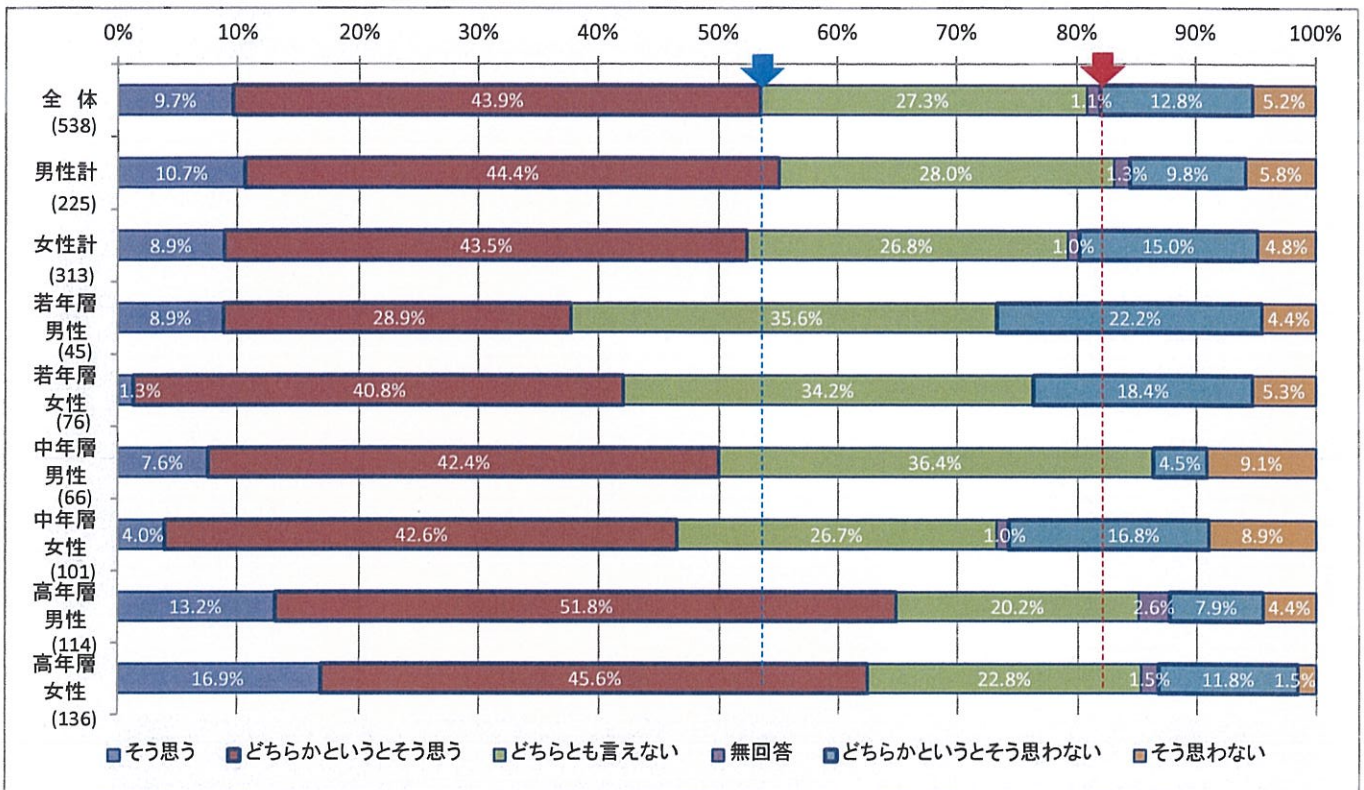


## (3) コメント

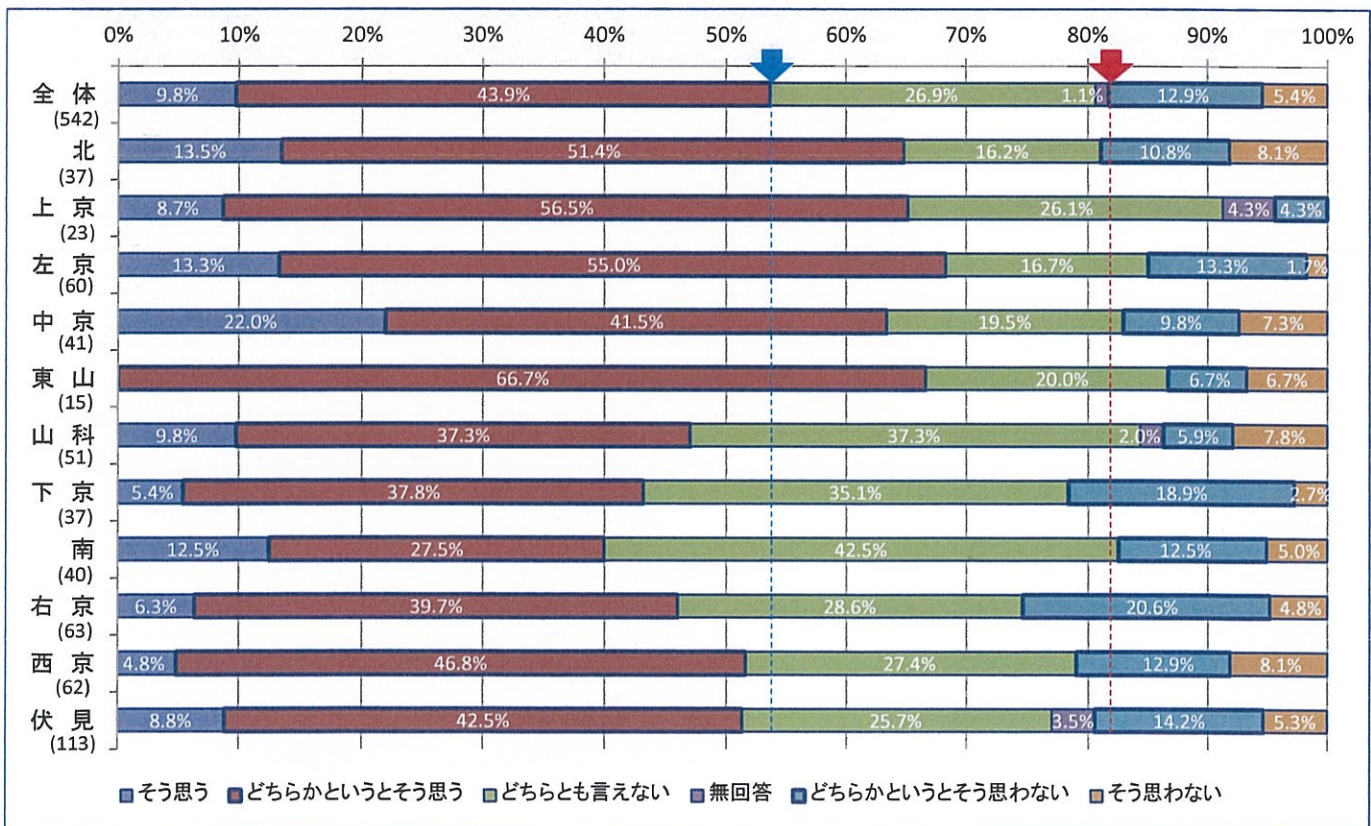
全体的には、肯定的な回答の割合が最も高かった。また、男性と女性との比較では、男性の方が否定的な回答の割合が高かった。  
 世代別・性別を相対的にみると、肯定的な回答の割合は、高年層女性及び高年層男性において高かった。一方、否定的な回答の割合は、若年層男性、中年層男性及び若年層女性において高かった。  
 居住区別を相対的にみると、肯定的な回答の割合は、左京区及び右京区において高かった。一方、否定的な回答の割合は、東山区、上京区及び中京区において高かった。

## 2 「きれいな空気、清らかな川、静かなまち」など、よい環境が保たれている。

### (1) 世代別・性別分析



### (2) 居住区別分析



### (3) コメント

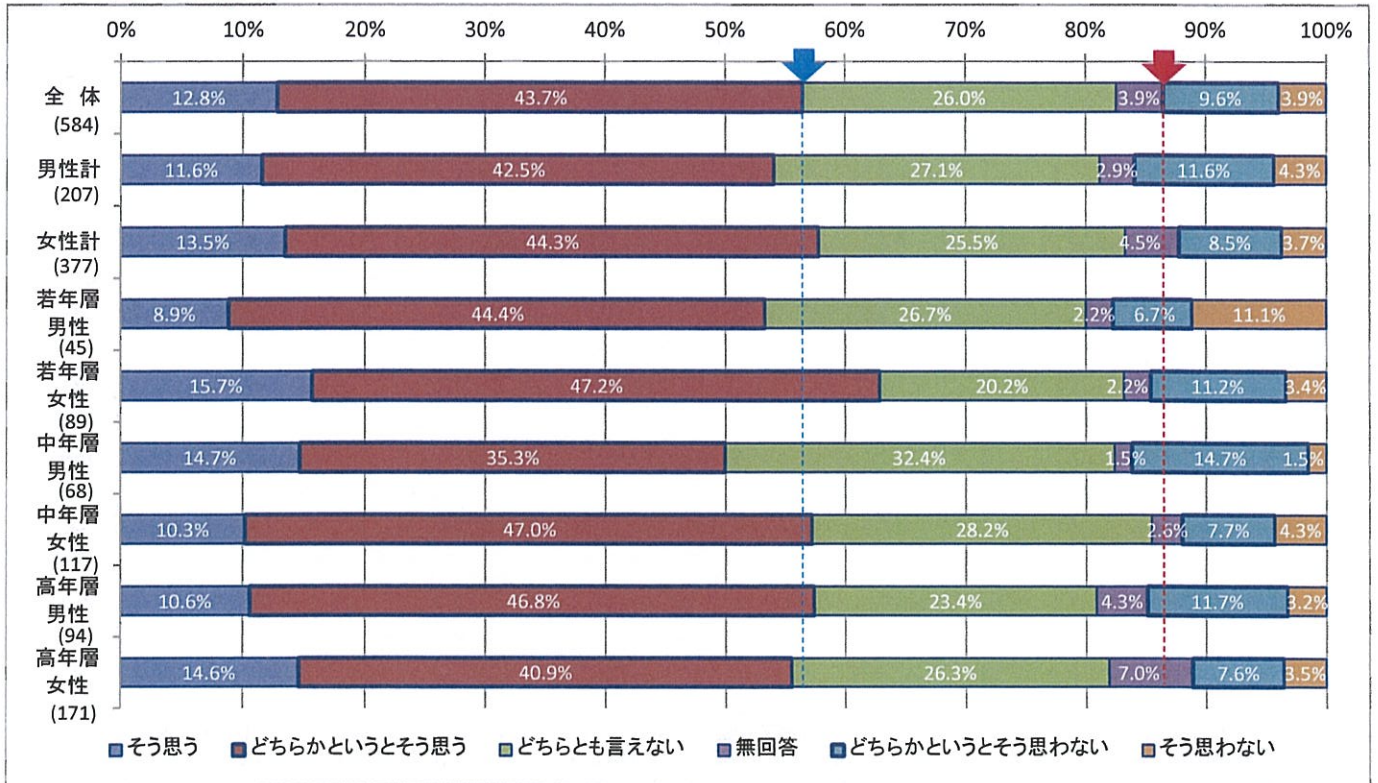
全体的には、肯定的な回答の割合が最も高かった。また、男性と女性との比較では、大きな差は見られなかった。

世代別・性別を相対的にみると、肯定的な回答の割合は、高年層男性及び高年層女性において高かった。一方、否定的な回答の割合は、若年層男性、中年層女性及び若年層女性において高かった。

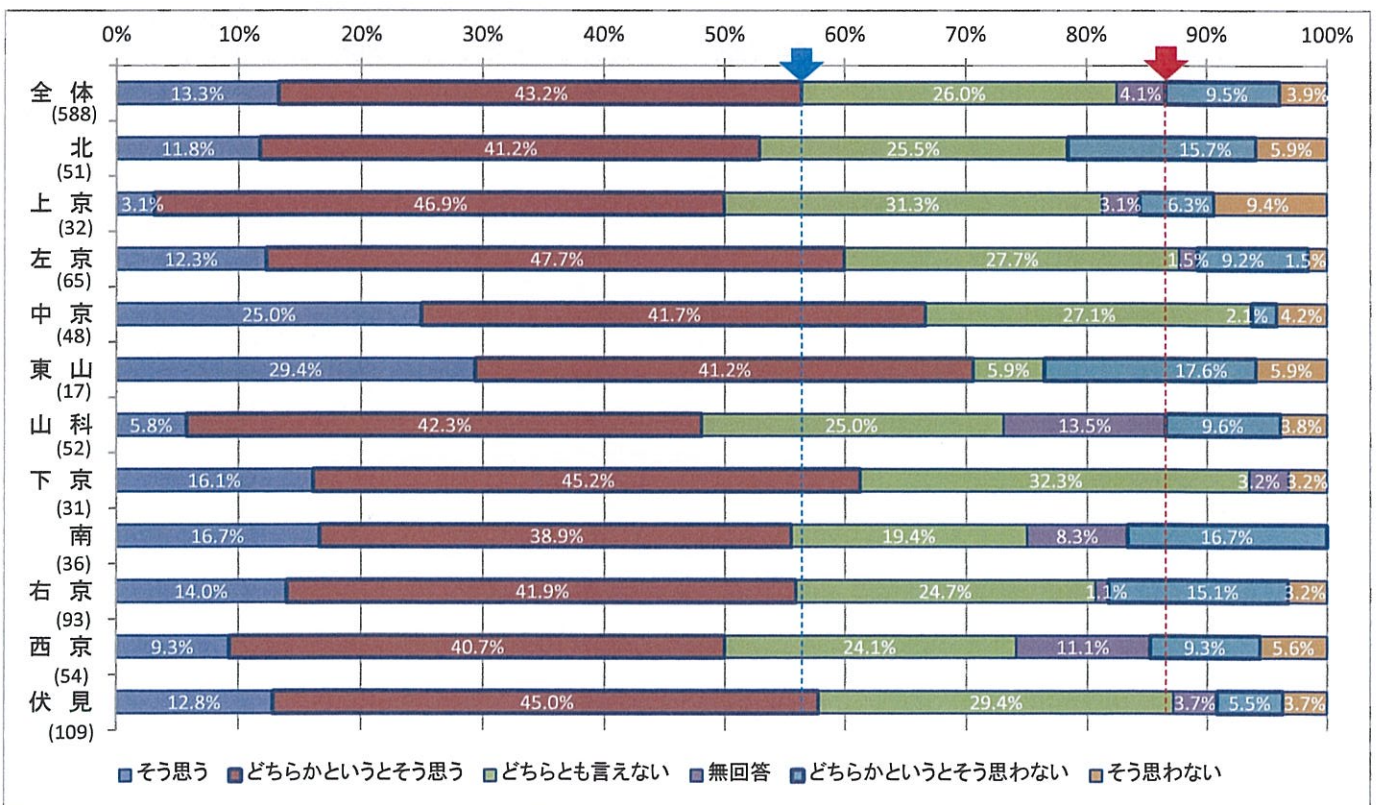
居住区別を相対的にみると、肯定的な回答の割合は、左京区、東山区、上京区、北区及び中京区において高かった。一方、否定的な回答の割合は、右京区において高かった。

3 省エネや省資源に取り組むひとや、徒歩、自転車、公共交通機関を利用するひとが増えている。

(1) 世代別・性別分析



(2) 居住区別分析

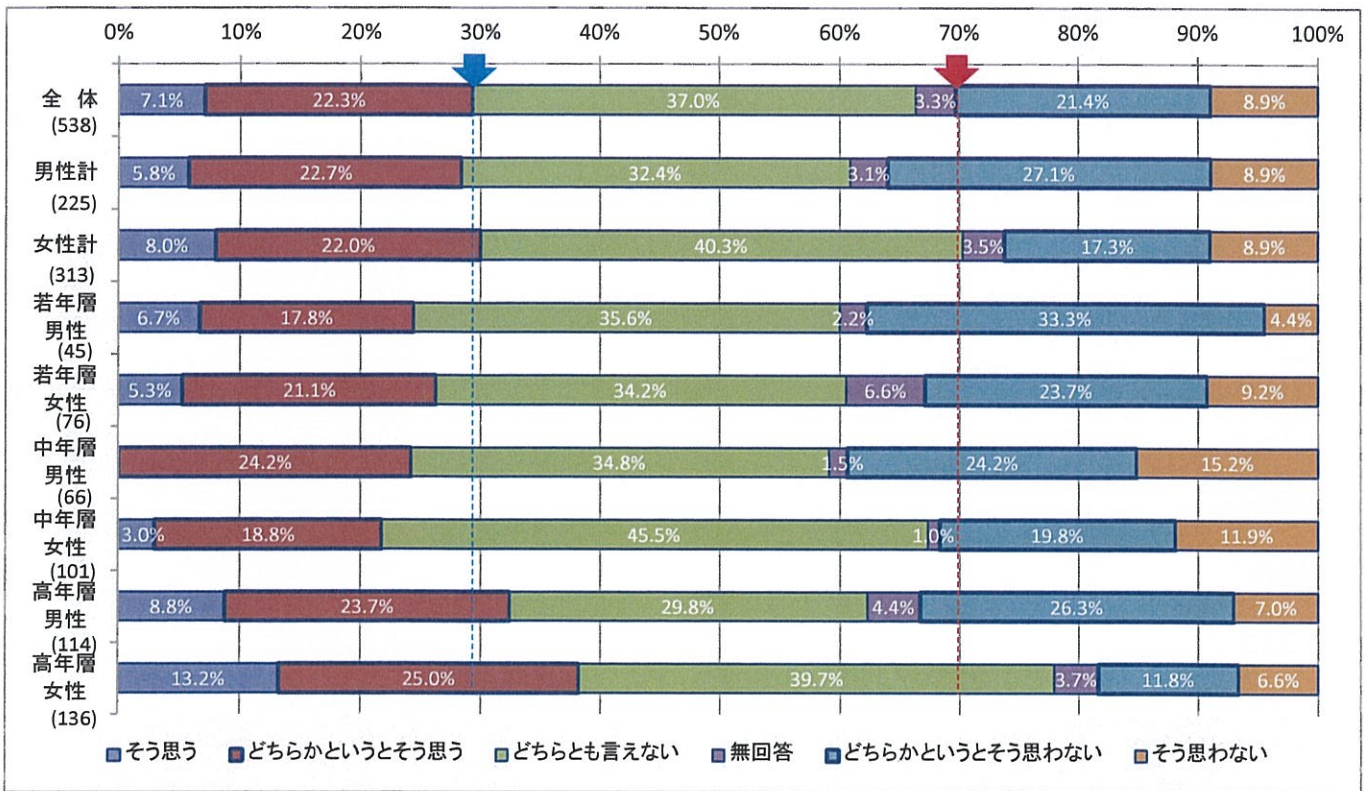


(3) コメント

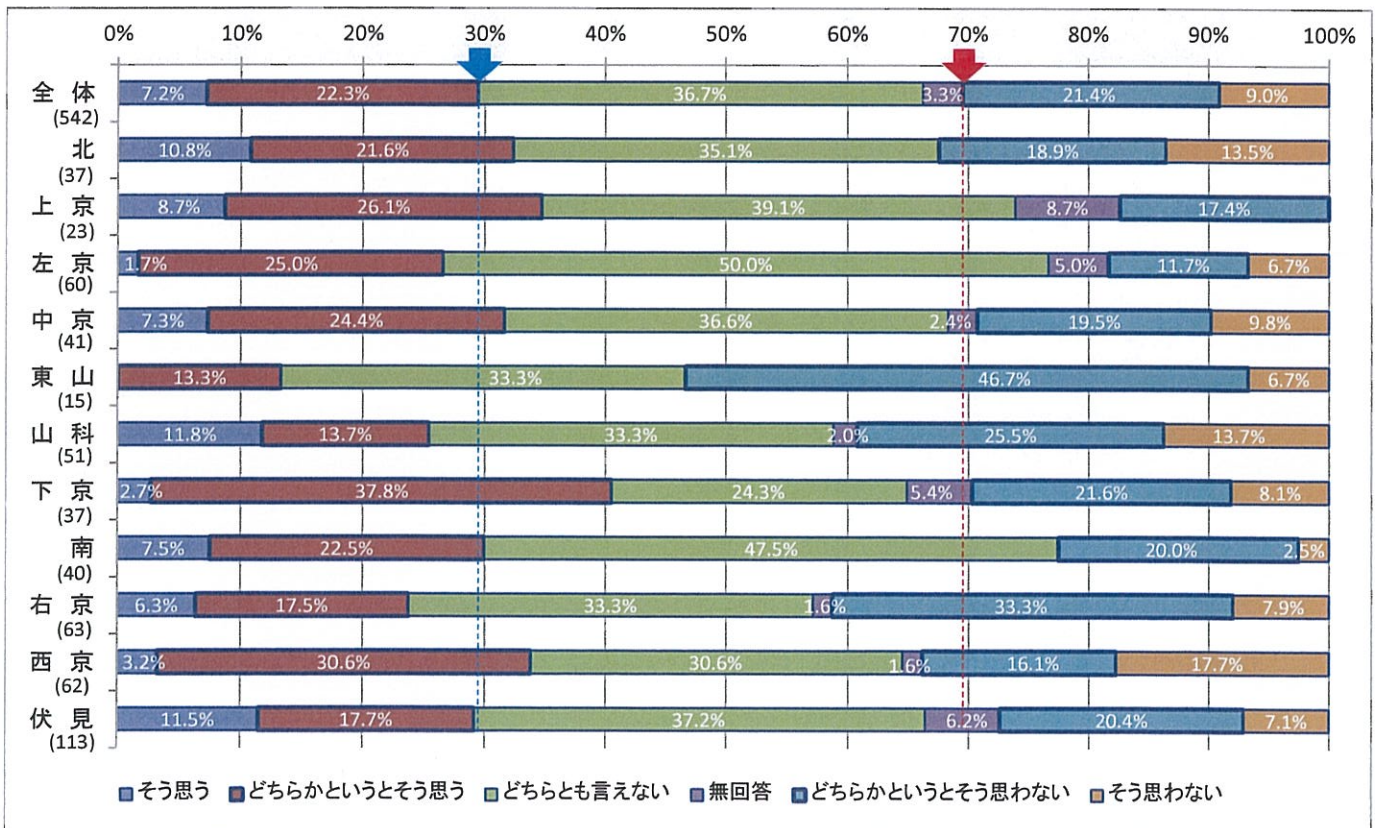
全体的には、肯定的な回答の割合が最も高かった。また、男性と女性との比較では、大きな差は見られなかった。  
 世代別・性別を相対的にみると、肯定的な回答の割合は、若年層女性において高かった。一方、否定的な回答の割合では、大きな差は見られなかった。  
 居住区別を相対的にみると、肯定的な回答の割合は、東山区及び中京区において高かった。一方、否定的な回答の割合は、東山区及び北区において高かった。

4 太陽光発電や使用済み天ぷら油の燃料化など、環境にやさしい技術やエネルギーの活用が進んでいる。

(1) 世代別・性別分析



(2) 居住区別分析

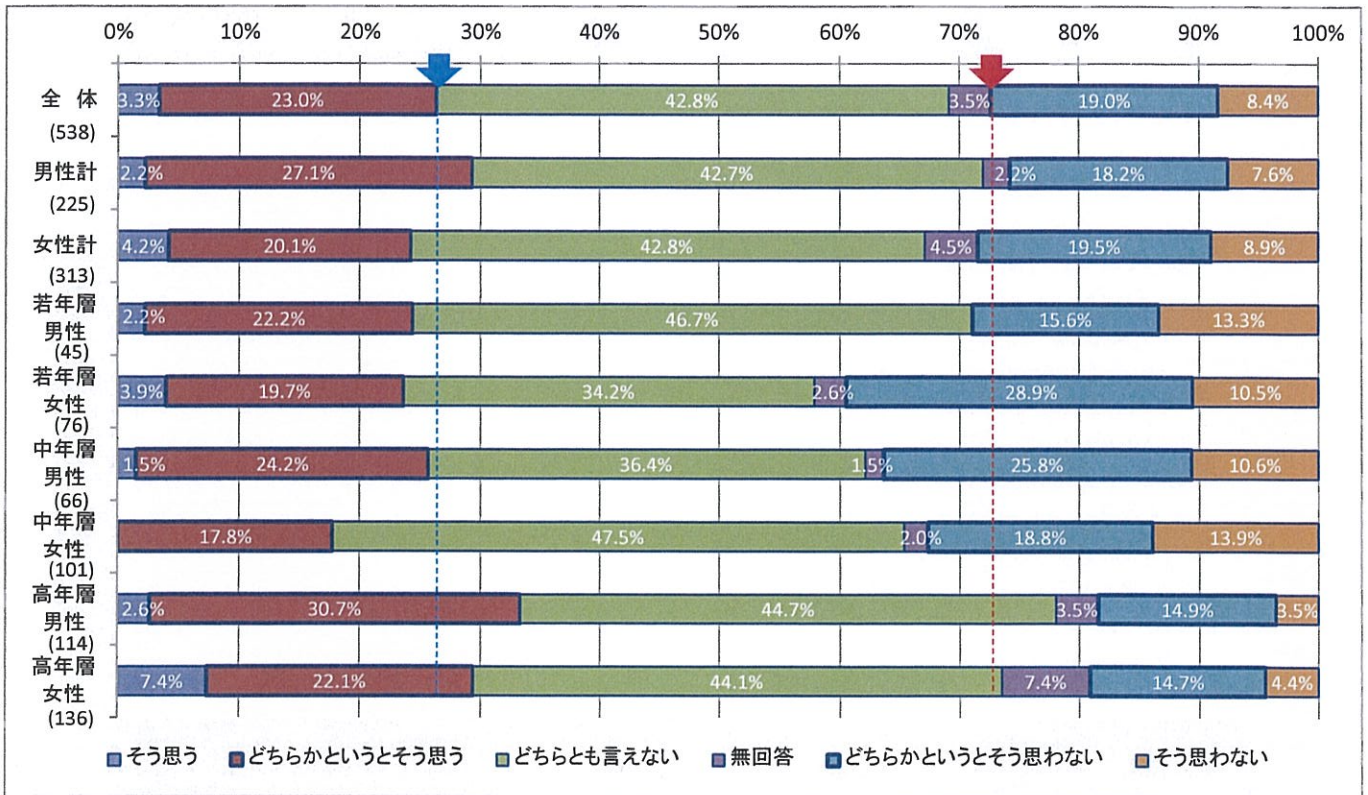


(3) コメント

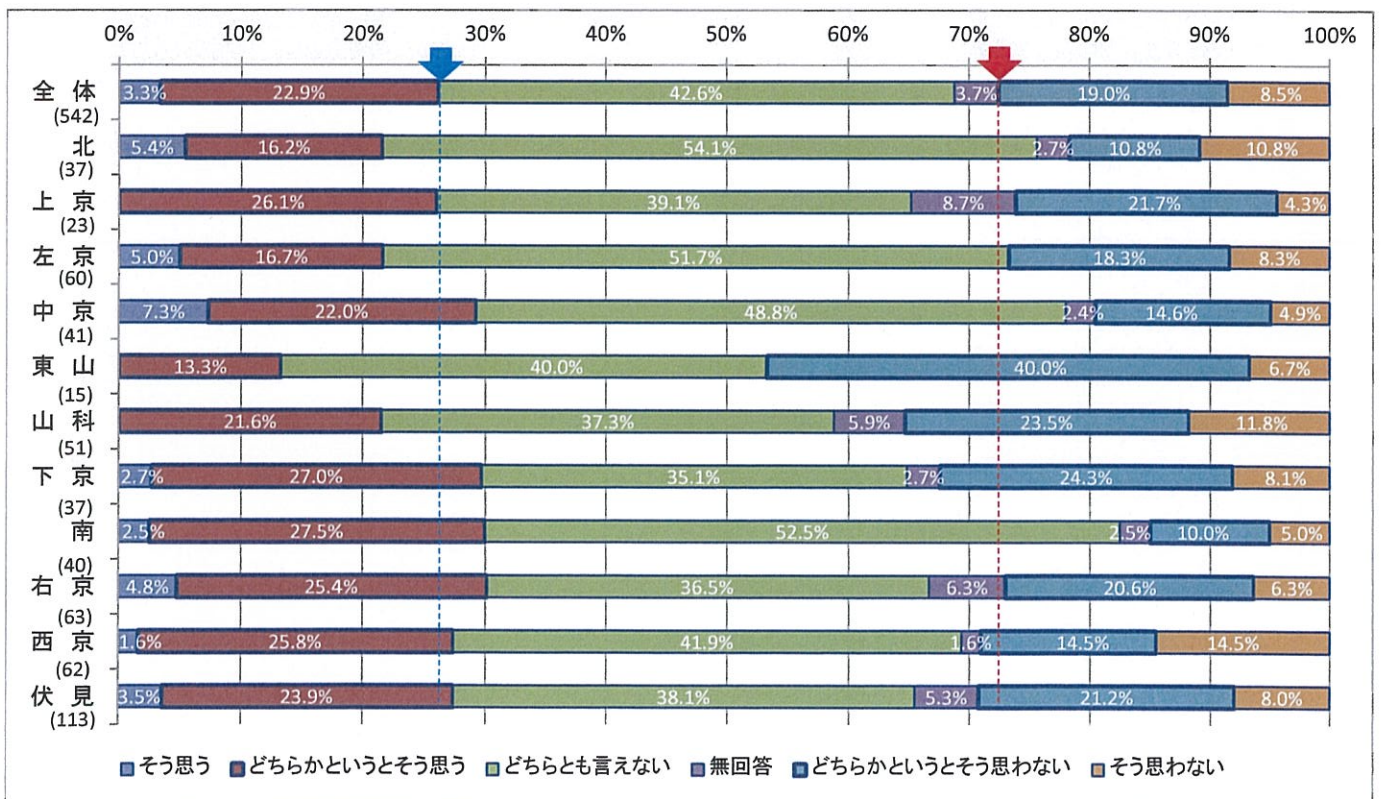
全体的には、どちらとも言えないの回答の割合が最も高かった。また、男性と女性との比較では、男性の方が否定的な回答の割合が高かった。  
 世代別・性別を相対的にみると、肯定的な回答の割合は、高年層女性において高かった。一方、否定的な回答の割合は、中年層男性及び若年層男性において高かった。  
 居住区別を相対的にみると、肯定的な回答の割合は、下京区及び上京区において高かった。一方、否定的な回答の割合は、東山区、右京区及び山科区において高く、東山区の数値は50%を超えた。

5 京都では、環境にやさしい行動を当たり前のこととして実践するひとや事業者が増えている。

(1) 世代別・性別分析



(2) 居住区別分析

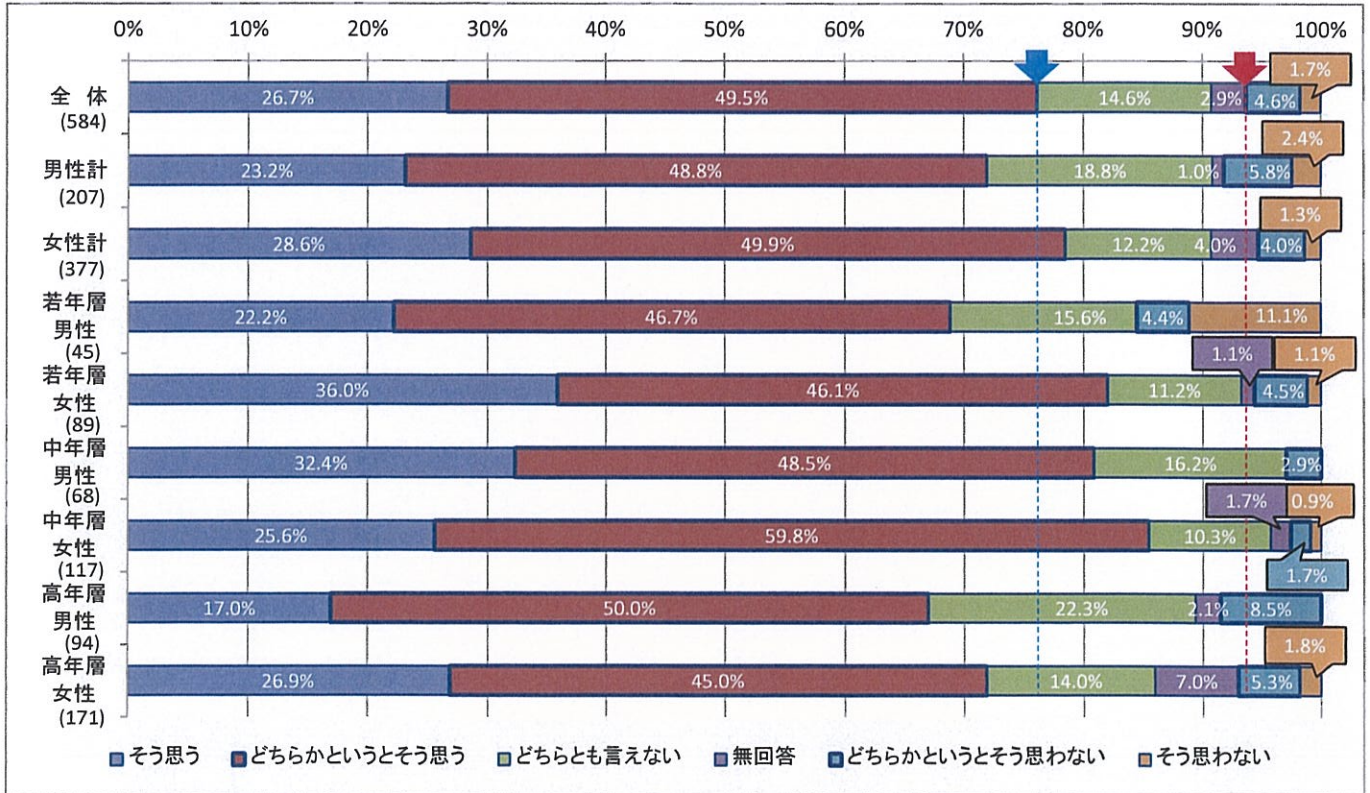


(3) コメント

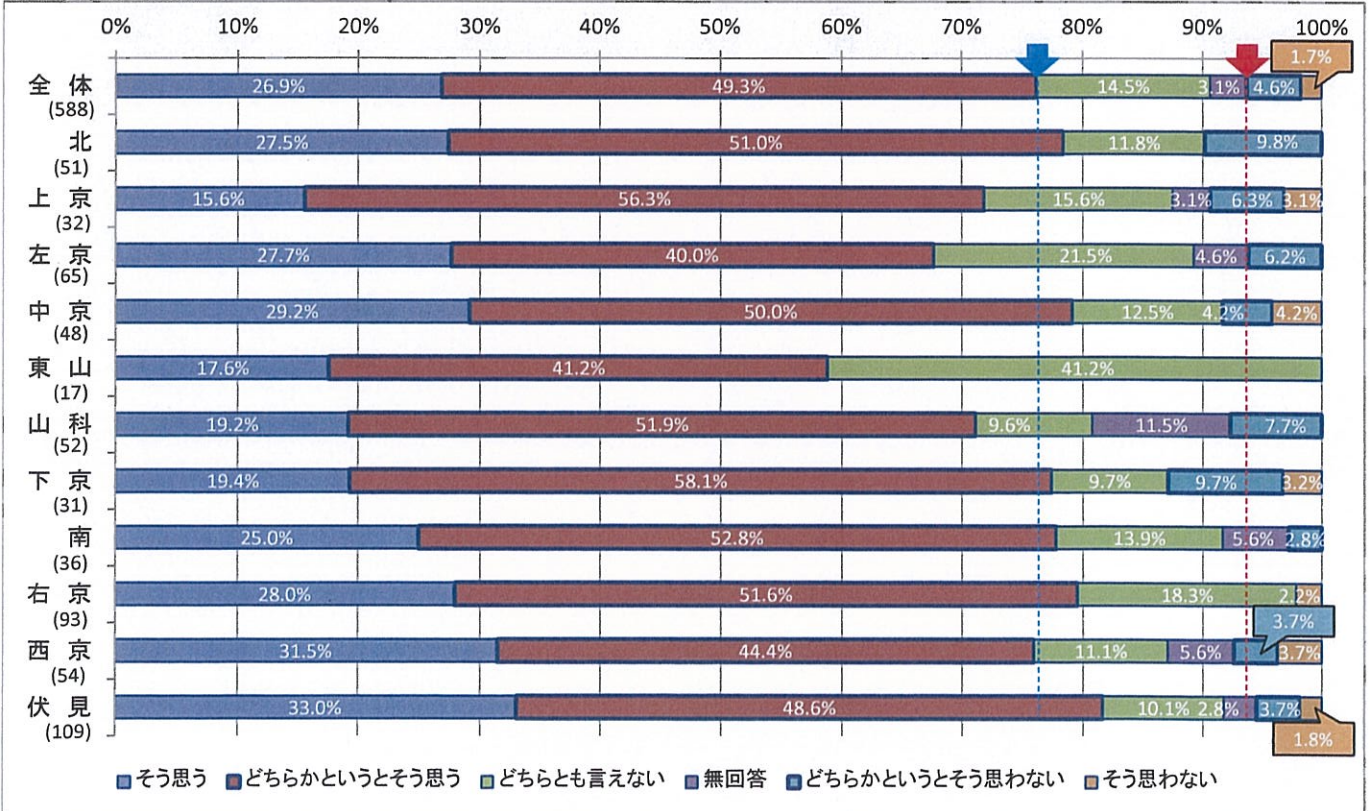
全体的には、どちらとも言えないの回答の割合が最も高かった。また、男性と女性との比較では、男性の方が肯定的な回答の割合が高かった。  
 世代別・性別を相対的にみると、肯定的な回答の割合は、高年層男性において高かった。一方、否定的な回答の割合は、若年層女性、中年層男性及び中年層女性において高かった。  
 居住区別を相対的にみると、肯定的な回答の割合では、大きな差は見られなかった。一方、否定的な回答の割合は、東山区及び山科区において高かった。

## 6 マイバッグやリサイクル製品など、ごみを出さないようなくらしと事業活動が広がっている。

### (1) 世代別・性別分析



### (2) 居住区別分析



### (3) コメント

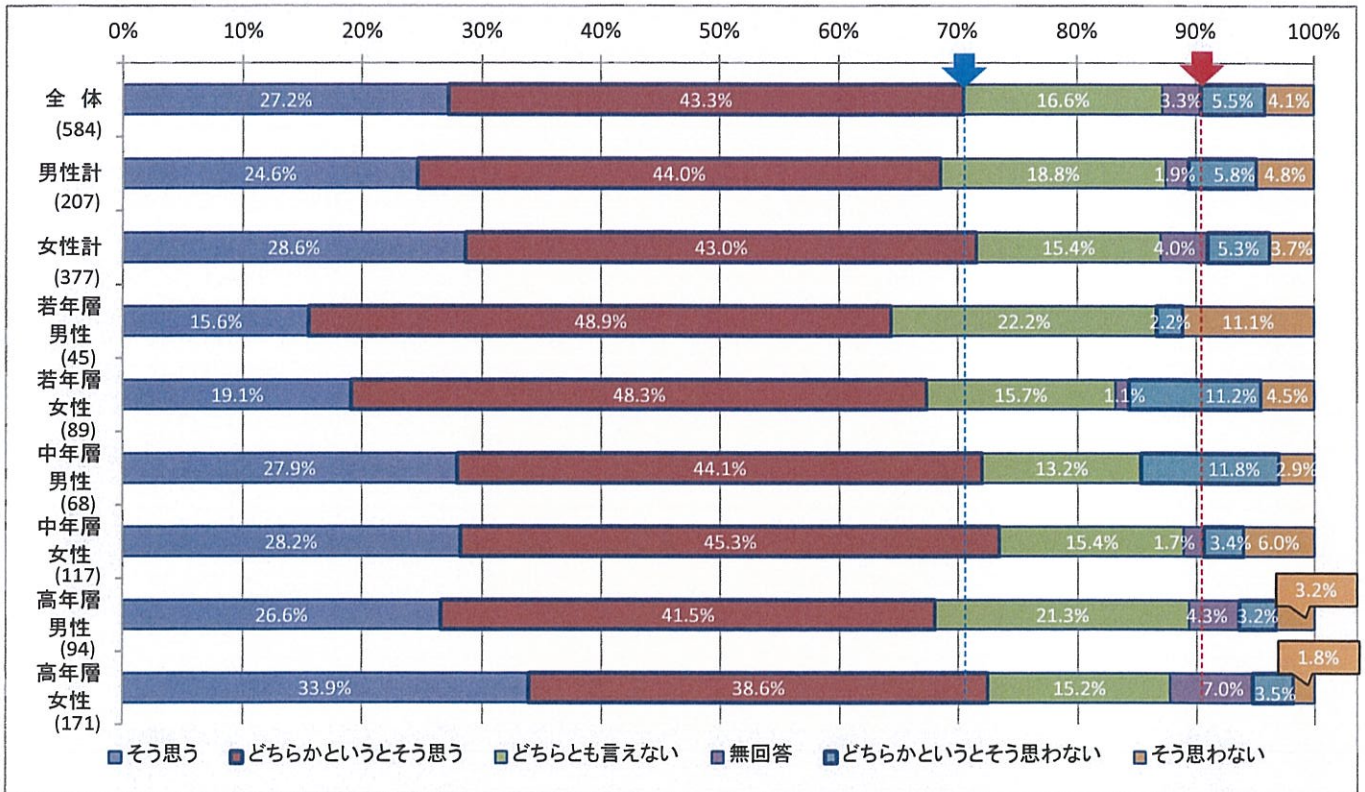
全体的には、肯定的な回答の割合が最も高く、その数値は70%を超えた。また、男性と女性との比較では、女性の方が肯定的な回答の割合が高かった。

世代別・性別を相対的にみると、肯定的な回答の割合は、中年層女性及び若年層女性において高く、その数値は80%を超えた。一方、否定的な回答の割合は、若年層男性において高かった。

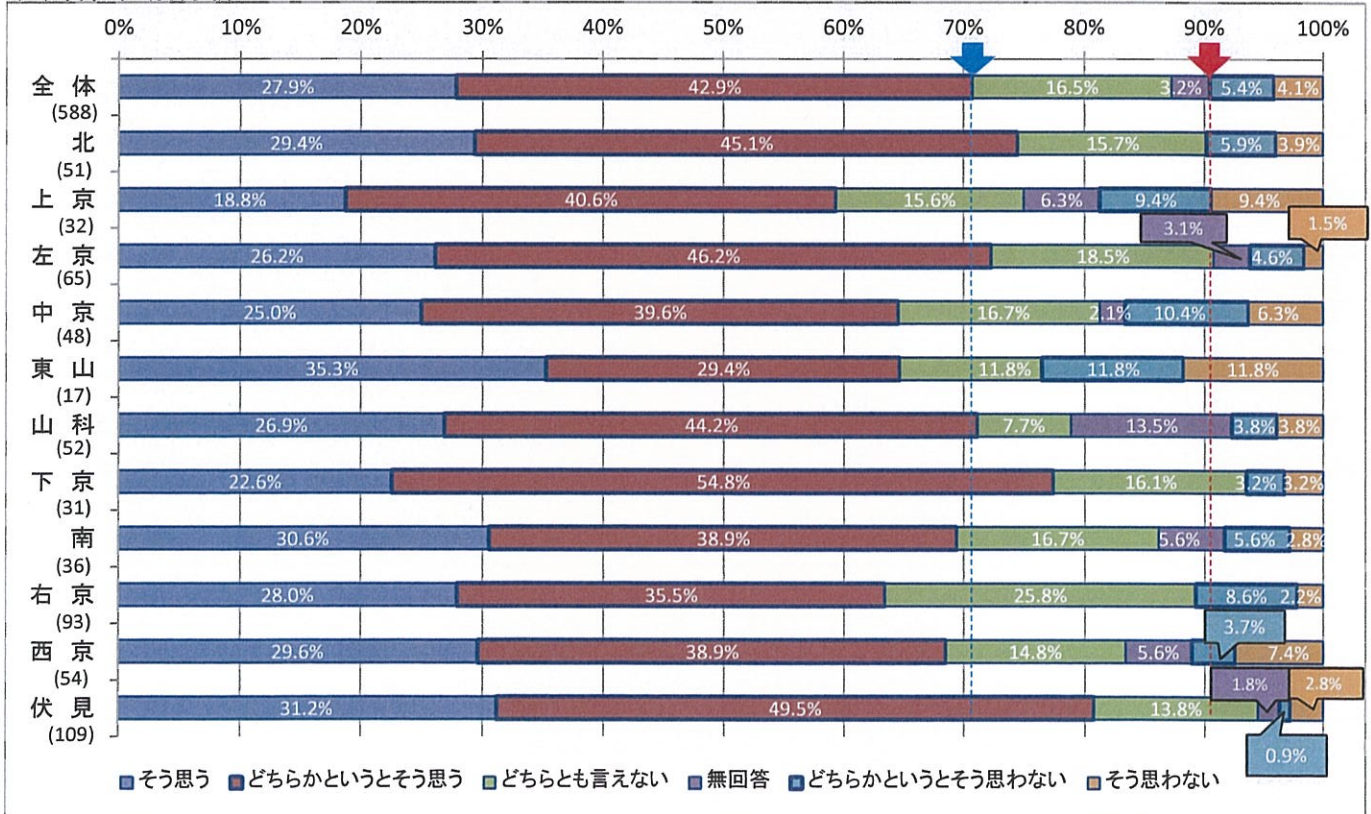
居住区別を相対的にみると、肯定的な回答の割合は、伏見区において回答の割合が高く、その数値は80%を超えた。一方、否定的な回答の割合は、下京区において高かった。

## 7 ごみを分別して出せる拠点が身近にあり、ごみのリサイクルが進んでいる。

### (1) 世代別・性別分析



### (2) 居住区別分析



### (3) コメント

全体的には、肯定的な回答の割合が最も高く、その数値は70%を超えた。また、男性と女性との比較では、大きな差は見られなかった。

世代別・性別を相対的にみると、肯定的な回答の割合では、大きな差は見られなかった。一方、否定的な回答の割合は、若年層女性及び中年層男性において高かった。

居住区別を相対的に見ると、肯定的な回答の割合は、伏見区及び下京区において高く、中でも伏見区の数値は80%を超えた。一方、否定的な回答の割合は、東山区、上京区及び中京区において高かった。